

西周『百学連環』における「技術」と司馬遷『史記』 「貨殖列伝」における「技術」

姫宮利融

●要約

「技術」を社会的な文脈で問題にするとき、「技術」という語に含まれている含意が明瞭であることが必要である。本稿では、「技術」という語を翻訳語として再定義した西周『百学連環』の議論を検討し、「学」と「術」の二筋の糸という西周の論理を明らかにする。また、漢語の「技術」の典拠とされる『史記・貨殖列伝』を検討し、司馬遷の産業論の特徴を明らかにする。さらに、幕末の技術書の検討を経て西周の「技術」概念の意義を明らかにする。

●キーワード

「学」と「術」 「技術」と「芸術」 『広益国産考』 科学技術
基本法 町工場ネットワーク モノづくり